

健康・生活

キッチンや洗濯スペースなどがあるお家に近い環境で、基本的な生活スキル、健康の維持・改善、生活リズム形成等に向けた練習を行います。

「次に何を行うか」分かりやすい環境づくりを意識し、将来の自立に向け、「できた!」を増やせる支援を続けていきます。

自分の身の回りはもちろんのこと、お料理やお掃除などの活動を通し、生活の中で人のために動けることを大切に思えるよう声掛けを行っています。



認知・行動

五感から得た情報を処理し、適切な行動に移していくことができるよう支援を行います。

感覚刺激遊びや運動等、認知の偏りに配慮し、子どもたちが楽しみながら行えるよう意識しています。

また物事や状況を見る際の、視点の切り替え方を学び、課題や嫌なことにも向き合ってみる、気持ちをコントロールし前向きに切り替え円滑な学習法を見つけるトレーニングを行っています。

自己や友達を捉えなおし、深く知ることで相手も自分も大切にできるよう支援します。



運動・感覚

運動療育を通し、姿勢保持や身体の動きをコントロールし、力加減や心身の安定につなげていくオリジナルゲームトレーニングを行います。

運動が得意な子も苦手な子も楽しめる、ゆるいスポーツやダンス等も行い、身体を動かすことを楽しめるようプログラムを組んでいます。

感覚統合療法・触覚を刺激する遊びも取り入れており、地域施設を活用し各種球技や柔道など思い切り身体を動かす機会も提供しています!



言語・コミュニケーション

子どもたちが、モヤモヤを抱え込まず気持ちを表現できるよう環境の工夫を行っています。

絵カードや顔パレット等、視覚ツールを用い、気持ちを表現してもらったり、相手の機微を見るゲームなどを通し、皆が気持ちの良いコミュニケーションをとることができるよう支援しています。

また、読み書き向上のための学習支援の他、のびのびと自己表現を行っていく事を目標に、興味関心のプレゼンや友達と協力し、イベント企画等行ってもらっています。想いを相手に伝えるための表現方法や円滑なコミュニケーション手段等、将来につながるスキルについて、子どもたちと一緒に考えていきます。

人間関係・社会性

ソーシャルスキルトレーニングを通し、自己中心的行動から協同への移行による社会生活で活躍していくスキルを伸ばしていきます。

集団の中での人間関係やルールへの理解、自他を大切にすることの関わり方についてゲームや活動を通し、実践的に学んでいます。

同年代の友達同士で想いや悩みの共有等、座談会のような会話が頻繁に行われています。よく話し合い、相手に共感し、一緒に悩み考えていく事で課題に前向きに取り組んでいく姿を見せてくれています。

安心できる居場所としての機能も意識し、子どもたちが良い人間関係を築きながら、社会性を身に付けていけるよう環境整備を行っています。

事業所名

ゆーもあstudio

支援プログラム

作成日

2024 年

10 月

25 日

| | | | | |
|-----------|---|--|--|---|
| 法人（事業所）理念 | | 一人ひとりの個性を尊重する居場所を目指し、将来の自立に向け、子ども達の個性・自己肯定感を大切に育み、活動を楽しみながら得意を伸ばしていく。 | | |
| | | ねらい | 支援内容 | 当事業所でのプログラム例 |
| 本人支援 | 健康・生活 | 健康状態の維持・改善 生活リズムや生活習慣の形成 基本的な生活スキルの獲得 | <ul style="list-style-type: none"> 心身の健康状態の定期的なチェックを行い、体調に変化がある際は保護者への連絡や医療機関の受診等、適切な対応を行う。 LST将来の自立のつなげていくために、基本的な生活スキルの獲得を目指した支援を行う。身の回りの整理やスケジュール管理、食育等、日常生活に根差した活動を子どもたちにわかりやすい形で行っていきけるよう、適切な視覚情報を提示しながら支援していく。 生活リズム確立のために、定時での通所、睡眠時間や余暇活動等について相談を行う。 事業所内レイアウトを子どもたちにわかりやすいよう構造化し、時間や活動の流れを意識しやすい環境づくりを行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 料理やお菓子作りを通じた食育子どもたち同士での企画やお買い物、準備や後片付け等役割分担を通じた共同作業への参加 構造化を意識した掲示物及び子どもたちへの指示 スケジュール管理や自立通所のサポート 忘れ物チェッカー作成 自身で片付けしやすい環境整備 役割分担して行う清掃活動 |
| | 運動・感覚 | 姿勢と運動動作の向上 保有する感覚の総合的な活用 姿勢保持や動作の補助的手段の活用 | <ul style="list-style-type: none"> サーキットや体幹トレーニング等、運動プログラムを通じ日常生活に必要な動作の習得及び改善につながる支援を行う。 地域の環境資源として体育館や公園などを活用しながら、各種球技等を行い、身体能力を高めスポーツに親しみを持てるよう活動を行う。 ハサミや靴紐等、細かい手先の運動を習得するトレーニングを行う。 子どもの発達段階及び特性に配慮した、感覚刺激運動を行う。 姿勢保持や各種運動、動作が困難な場合に装置や器具など補助的手段の提案及び、必要な機関と連携を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 力加減や気持ちのコントロールに役立つオリジナルゲーム 公園遊び、トレーニングやダンス、スポーツを通じた運動療育で協調運動 スライムづくりや粘土など五感を刺激するような創作活動やゲーム 結び目や折り紙等、微細運動のトレーニング 季節にちなんだゲームなど、視覚、聴覚、触覚を活用した感覚運動遊び アウトドア活動を通じ自然とのふれあいや自立心を向上。 |
| | 認知・行動 | 認知の発達と行動の習得 空間、時間、数等の概念形成の習得 対象や外部環境の適切な認知と行動の習得 | <ul style="list-style-type: none"> 天気や日付の確認、五感を刺激する身体遊びや制作活動を通じ、認知機能の発達を促す支援を行う。 知覚した情報をもとに環境や状況を把握的確な判断や行動につなげることができるよう支援する。 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生じる行動障害の予防及び適切な行動対応への支援を行う。 物事や状況をリフレーミングする習慣がつくよう声掛けを行い、多角的な視点で行動選択を行っていきけるよう支援する。 | <ul style="list-style-type: none"> ボードゲーム療育による適切な行動形成・認知の偏りへの配慮 特性に合わせた円滑な学習方法・ヴィジョントレーニング 同年代や共通点のある友達同士の定期的な座談会 物事、自己他者への適切な認知行動・課題に向き合う力をつける為の支援 心理担当職員によるカウンセリング |
| | 言語 コミュニケーション | 言語の形成と活用 言語の受容及び表出 コミュニケーションの基礎能力の向上 コミュニケーション手段の選択と活用 読み書き能力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの発達段階に応じた話し言葉やコミュニケーション手段を選定し、相手の意図を理解したり、自分の意図を伝える等、言語の受容及び表出に関するトレーニングを行う。 特性に応じた読み書き能力向上のための支援を行う。 人との相互作用を通じたコミュニケーション能力向上のための支援を行う。 視覚支援を活用し、円滑な関わり方を学習。 | <ul style="list-style-type: none"> 集団活動での意見の受容及び表出 絵カード、顔パレット等ツールを用いたコミュニケーション 興味関心についてICT機器を用いたプレゼンテーション 読み書き能力向上のための学習支援 多感覚を用いた英語、国語などの言語学習支援 毎月定例で子ども主体のイベント開催 |
| | 人間関係 社会性 | 他者とのかかわり、人間関係の形成 自己の理解と行動の調整 仲間づくりと集団への参加 | <ul style="list-style-type: none"> 人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤に周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。 自己に関する認知を深め、気持ちや情動の調整ができるようになるための支援を実践する。 子ども自らが自発的に集団活動に参加していけるよう、環境調整及び関わり方の提案を行う。 自己中心的行動から共同遊びへの移行による社会性の発達支援。 | <ul style="list-style-type: none"> 各種SST イベント企画や模擬店などの共同作業 自己分析や相手を知るゲーム等 高学年進路相談 職業紹介並び体験 集団参加によるルール理解及び興味関心のプレゼンテーション 子ども主体イベントの企画、立案の話し合い |
| 家族支援 | 家族支援プログラムの実施（定期的な保護者会、相談を通じた支援の調整、家庭の子育て環境の整備サポート、関係機関、ご利用者様同士の横のつながり等、子どもを支援する輪を広げる橋渡し等） | 移行支援 | 保護者への情報提供及び、移行先との連携・調整等を行う。・本人の意向にあった就学先選択や進路を関係諸機関に助言を仰ぎながら相談を進める。 子どもや保護者との意思疎通、情報伝達に齟齬が生じないよう配慮して支援する。 | |
| 地域支援・地域連携 | 必要に応じて医療、教育機関、保健所、児童相談所、発達支援センター、関係機関との連携を行い、話し合いの場を設け計画的な支援につなげる。 ケース会議、地域支援体制構築のための会議等へ積極的に出席。 | 職員の質の向上 | 法定研修、職員の質の向上に資する研修への参加 定期ミーティングの実施による情報共有及び支援のブラッシュアップ等 | |